2022 年 6 月 15 日

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ
会員各位

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ
代表理事 増田 純一

# 2023年度通常総会のご案内

会員並びに会にご縁いただいている皆様におかれましては、日頃からかわごえ里山イニシアチブの活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、NPO 法人かわごえ里山イニシアチブでは、下記の要領にて 2023 年度通常総会を開催しますのでご参加ください。非会員の方もオブザーバー参加が可能です。

尚総会に引き続き講演会も開催したします。こちらも奮ってご参加ください

記

日　　時　2023 年 6 月 25 日（日）13:00～14:30
開催場所　ウェスタ川越南公民館　講座室 5 号
〒350-1124 川越市新宿町 1 丁目 17 番地 17 川越駅下車、西口から徒歩 5 分

総 会 次 第

1 開　会
2 代表理事挨拶
3 議長及び議事録署名人の選出
4 議　事
審議事項
議案第 1 号 2022 年度事業報告
議案第 2 号 2022 年度決算（活動計算書）報告
2022 年度監査報告
議案第 3 号 役員改選
報告事項
2023 年度事業計画
2023 年度活動予算
5 その他
今後の予定、連絡事項など
6 閉　会

以下、コピペして必要事項を記入の上、
**6 月 22 日（木）までにご返送ください。**
**返送先：hatsukarinosato@googlegroups.com**

---

# 2023 年度総会出欠票 兼 委任状

**出席・欠席（どちらかを削除下さい）**

☆出席の方（欠席の方はこの項は削除ください）

氏　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メ ー ル：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

尚、出席表明で当日欠席の場合は議長にその議決を委任することになります。

☆欠席の方は委任状を提出下さい。

委任状

私は、2023 年 6 月 25 日に開催される通常総会に会場参加ができませんので、
議長、または、会員 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に議決権を委任いたします。
（会員に記載がない場合は、議長に委任となります）

2023 年 6 月　　日

氏　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メール：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

# 2023年度
# NPO法人 かわごえ里山イニシアチブ
# 通常総会

日時　2023年6月25日(日)午後1時開会

場所　ウェスタ川越南公民館　講座室5号

総　会　次　第

1　開　　会

2　代表理事挨拶

3　議長及び議事録署名人の選出

4　議　　事

審議事項

議案第1号　2022年度事業報告

議案第2号　2022年度決算（活動計算書）報告

2022年度監査報告

議案第3号　役員改選

報告事項

2023年度事業計画

2023年度活動予算

5　そ　の　他

今後の予定、連絡事項など

6　閉　　会

議案第１号

# 2022 年度 事業報告

## 【1】はじめに（2022 年度活動概要と成果）

私たちかわごえ里山イニシアチブは、住宅地と田畑が連なる川越市北部郊外において、人と環境にやさしい田んぼ活動を中心として、都市近郊型農村の特徴を活かし、田園環境の保全・創造と、地域の人々の暮らしに調和したコミュニティづくりを目指して活動している。

都市型農村の特徴を活かし、昨年度で目を迎えた「生きもの育む田んぼプロジェクト 2022」は、コロナ禍が続く中で栽培面積やイベント活動の縮小を余儀なくされながらも、限られた資源の中で工夫をしつつ地道に環境保全型農業の実践活動を行ってきた。

この様な中で、2022 年度の大きな成果としては、以下 2 つの教育機関との連携活動が実を結んだことが挙げられる。 1つは日本薬科大学と行ってきた土壌分析研究により、無農薬・無化学肥料の福田田んぼの土壌バクテリア群の豊かさが科学的に証明され、地球温暖化防止にも貢献していることが判明した点。 2つ目は日本工学院専門学校マンガ科の協力を得て、かわごえ里山の活動や生物多様性農法を分かりやすく伝えたマンガ冊子『COMIC TANBO 創刊準備号』を制作、一般配布を開始し、当会の活動を幅広い層に訴求する事が出来た点である。

その他、マコモ葉を使った飾りつくりなど、田んぼ文化を継承するワークショップの開催や、マコモウエットティシュの開発・販売開始など、小規模ながら今後の 6 次産業化を見据えた取り組みを行った。

## 【2】事業概要

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブでは、次の様な事業を行っている。

**① 田んぼ活動に関する調査研究事業**

・生きもの育む田んぼプロジェクト
（環境にやさしい米づくり＆マコモ栽培協力）
・稲作に関するデータ収集及び分析
・生きもの調査の実施

**② 講習会・イベント開催事業**

・講習会・イベント・交流会

**③ 情報収集及び情報発信事業**

・田んぼ活動先進地の情報収集
・ホームページ及びメーリングリスト等による広報
・チラシ及び冊子による活動の普及・啓蒙

**④ 農業分野における IoT の利活用に関する事業**

・田んぼを見守る田んぼ IoT システムの開発

**⑤ 環境にやさしい農産物の頒布事業**

・お米・マコモ、及びその加工品などの販売と販売協力

**⑥　その他目的を達成するために必要な事業**

・田んぼによる田園景観の保全活動、地域の魅力発掘やコミュニティづくりなど

・ビオトープ＆花壇などによる癒しの空間作り

・高大連携での探求学習の実施

## 【3】主な活動実績

**◆2022 年度は会員 72 名(含家族会員、協力会員)で活動を行なった。(2021年度:72 名)。**

各事業における活動実績は以下の通り。

### ①　田んぼ活動に関する調査研究事業

農家と非農家(消費者)が連携して会費制で環境にやさしい米づくりに参加する『生きもの育む田んぼプロジェクト』を当会の主要事業と位置付けて活動している。 コロナ禍が続いていた 2022 年度は、人的工数不足や重機移動に伴う安全管理面の問題もあり、これまで一部業務委託を行いつつ栽培を継続していた府川地区 4 反からの撤退を決定。 残る福田地区もそれまでの約 5 反⇒約 3 反と最小限の栽培面積として活動エリアを集中する事となった。
また、マコモ栽培技術と文化の伝承を目的として「いのち育むマコモ・オーナープロジェクト」も継続。1 口(1 区画≒3.5 坪)10 株分のオーナーを募り、6 名の応募者が栽培人の指導との下で栽培管理作業に汗を流した。 また里山のマコモ田んぼでは、敷島神社「夏越しの大祓」茅の輪くぐり用として奉納するマコモも育てている。

**◆田んぼプロジェクト(お米)2022 ⇒PJ 参加者:33 名** (2021 年度実績:30 名、2020 年度実績:30 名)

**＜収量結果＞**

- **福田地区(約 3 反): 720kg(反収:4 俵/反)**
  ※2021 年実績(同等面積換算):770kg(反収:約 4.3 俵/反)

**◆マコモ・オーナープロジェクト 2022 年度 ⇒PJ 参加者:6 名**

＜実施結果＞

・2022 年度は有志会員が活動コーディネータとなり、栽培人と連携して農作業の計画や、ワークショップの企画運営等を自主的に行うスタイルにて活動実施した。

・マコモ葉を使った七夕/お正月飾りつくり等、田んぼ文化伝承イベントの開催の他、霞ヶ関北地区にある角栄商店街や川越ファーマーズマーケットへの出店でのマコモ製品販売やワークショップ開催等、市民への啓蒙普及活動にも取り組んだ。

・12 月には有志会員の協力も得て作成したマコモ葉注連縄を、川越八幡宮に奉納した。

### ②　講習会・イベント開催事業

コロナ禍が続く中、2022 年度も里山主催の主要イベントの多くは縮小開催となったが、感染沈静期に開催された下記幾つかの外部イベントでの出店参加による収穫物の頒布や活動発表の場を持ち、積極的な広報活動を行った。

・7 月初旬：田んぼのソムリエ林鷹央氏を講師に毎年人気の、「田んぼの生きもの観察会」を規模縮小して実施。 広範囲な集客告知は行わなかったものの、地元小学校からの参加もあり、田んぼが子ども達の明るい歓声で包まれた。
・8 月下旬：環境省主催「グットライフギャザリング 2022」(オンライン開催）での里山活動発表（増田代表）。
・12 月下旬：「秩父サイエンスアカデミー」での里山活動講演（増田代表）
・2 月下旬：「かわごえ環境フォーラム」での里山活動発表（増田代表）

### ③ 農業分野における情報通信技術(IoT)の利活用に関する事業

・インフォメーションコンシェルジェの林伸夫氏と共同開発した田んぼ IoT システム 2 号機の改修を進め、田んぼ脇に再設置した。

### ④ 環境にやさしい農産物の頒布事業

2022 年度は感染沈静期に開催復活した外部イベントも幾つかあり、下記3つのイベントに感染対策を配慮しつつ出展・出店参加を行った。
・10 月初旬：「アースデイ川越 in 昭和の街」出展
・10 月下旬：「3coin 3days こども商店街」（角栄商店街）出店、及び体験ワークショップ開催
・12 月初旬：「川越ファーマーズマーケット」への出店

### ⑤ その他目的を達成するために必要な事業

かわごえ里山では、お米やマコモづくりだけではない田んぼの多様な機能や価値に着目して活動している。 この目的の為、田んぼをフィールドにした多様な連携の輪を拡げ、地域の魅力発掘発信やコミュニティづくりを行っている。

◆**大学連携**：当会発足当初から共同研究を進めている東洋大学小瀬研究室との「登熟積算気温の表示と収穫までの予想日数を表示する PHP プログラムの作成」研究、2019 年度から取り組みを始めた日本薬科大学（伊奈町）との土壌細菌の多様性研究に加えて、2022 年度からは日本工学院専門学校との田んぼ活動の広報マンガ冊子「COMIC TANBO」の制作協力の取り組みを行なった。
◆**農福連携**：川越の障がい者就労支援施設（B 型）・ウォームサポートシオンと、マコモ製品の生産・販売面での協業を行っているが、コロナ禍での活動制約もあり 2022 年度は大きな進展は無かった。

◆**地域連携**： 例年秋に開催される地域の案山子祭りに、今年も有志会員グループで作成した複数のユニークな案山子で参加し、皆で秋の豊穣を祈願した。
また引き続き地域組織である「山田田園環境保全推進グループ」に所属。地域の掘りさらいに参加するなど、より密接な関係を築き連携した環境・景観 保全活動を推進している。

◆**ビオトープ＆花壇整備（福田かるがもガーデン）**：
里山田んぼに隣接したビオトープ併設の地域憩いのお休み処として、2019 年春に設置整備した「福田かるがもガーデン」。 次年度以降の整備予算不足とコロナ禍での活動縮小により、この 3 年間は下草刈り等の最低限の維持管理作業だけとなっている。 しかしながらこの場所は、日除けが

ない田んぼの中で貴重な農作業の休憩場所にもなっており、2023 年度は新たに予算を確保し整備活動を再開する予定である。

**◆部活動と SDGs：**

かわごえ里山イニシアチブでは主とする田んぼ活動の他に、有志会員が集まり、下記自主的な部活動を行っている。

**＜養蜂部＞**

・2022 年度の養蜂部は蜜源として活用する為、耕作休止地の耕転やヒマワリなど花の種蒔きを続けてきた。 春は天候不順で採蜜が出来なかったが、前年の学びを踏まえての努力の結果、徐々に順調な養蜂が行えるようになり、秋には再び採蜜する事が出来た。しかし冬場、育てた蜜蜂を次年度に繋ぐために越冬を試みるも上手く行かず、養蜂の奥深さと難しさを部員一同実感している。

**＜ホタル部＞**

・2019 年からホタルの幼虫の飼育と放流を行っており、2021 年秋からは川越市北公民館のホタル人工飼育勉強会にもメンバーが参加して活動している。 今年に入り幼虫飼育と放流拠点であった古民家が取り壊されてしまった為、現在新しい活動拠点と放流場所づくりを目指した新たな活動に取り組んでいる。

**＜福ちゃん畑部＞**

・高梨農園北側約 120 坪の土地に計 16 区画の会員専用畑を年間契約にて賃借し、畑作部として活動している。 元々田畑転換地の為、耕すのもひと苦労な土の固さや夏場の雑草繁茂の勢いに皆苦労しながらも、現在 11 名の部員が思い思いの作型にて無農薬の野菜作りを行っている。

【私たちの SDGs】以上の様な具体的な活動で、私たちは SDGsの目標達成を目指している。

**◇対象項目 3.9**：2030 年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

＜私たちの活動＞農薬や化学肥料を使わない農法で土壌汚染を減らし、生きものとの共生や緑肥でお米やマコモの農産物を生産し、食と健康に寄与している。

**◇対象項目 11.a**：各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。

＜私たちの活動＞都市型農村の特徴を生かし、環境にやさしい農業で都市と農村をつなぎ、人と人、人と生きものつながりで環境豊かな里山づくりを目指す。

**◇対象項目** 15.4：2030 年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。

**＜私たちの活動＞**生物多様性有機農法による米作りやマコモ栽培を実践していく。

**◆受賞歴：**

✧ 2016 年：『生きもの（いのち）育む田んぼプロジェクト』
「国連生物多様性の 10 年日本委員会の認定連携事業」となる。
https://undb.jp/authorization/3515/

✧ 2018 年：「彩の国埼玉環境大賞」 大賞受賞
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0501/h30kankyoutaishou-kettei.html

✧ 2020 年：「第8回グッドライフアワード」 環境と福祉賞受賞
https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/winner-vol8.html

**◆2022 年度の主要な活動**（日常の農作業除く）

| 活動月 | 活　動　内　容 |
|---|---|
| 4 月 | 福田の掘りさらい（山田田園環境保全推進 GP）<br>稲の温湯消毒～種籾浸種（芽出し）、マコモ苗田植え |
| 5 月 | ストロベリーキャンドル＆レンゲピクニック（GW 中）<br>田んぼ PJ 現地説明会<br>田んぼの耕うん、代かき、畦草刈り、種まき（苗床）、育苗 |
| 6 月 | 田植え(稲)～除草作業<br>マコモ葉の七夕飾りつくり<br>通常総会＆講演会（日本薬科大学・髙野先生＆田んぼ IoT チーム・林先生） |
| 7 月 | 田んぼの生きもの観察会<br>マコモ葉刈取り、マコモ葉盆御座つくり<br>中干開始(稲) |
| 8 月 | マコモ葉刈取り<br>「グットライフギャザリング 2022」での活動発表 |
| 9 月 | 地域の案山子まつり参加（山田田園環境保全推進 GP）<br>稲刈り、乾燥～袋詰め作業 |
| 10 月 | 「アースデイ川越 in 昭和の街」出展参加<br>ストロベリーキャンドル、レンゲの種まき<br>「秩父サイエンスアカデミー」での活動発表 |
| 12 月 | 川越ファーマーズマーケット出店参加<br>マコモ葉お正月飾りつくり |
| 1 月 | トラクター運転講習会 |
| 2 月 | 「かわごえ環境フォーラム」での活動報告 |
| 3 月 | 高大連携探求学習協力開始（第一学院高校＆日本薬科大学） |

## 【4】2022 年度の受取助成金関連

**◆<u>2022 年度助成金合計＝599,240 円</u>**

1. **サイサン環境保全基金**.....349,240 円
2. **みぬまサウルス企画事務所**.....250,000 円

**※参考 2021 年度＝下記計 626,811 円**

・サイサン環境保全基金　　：304,025 円
・武州・入間川プロジェク ト　：　72,786 円
・みぬまサウルス企画事務所：250,000 円

以　上

NPO報告様式

# 2022年度事業報告

特定非営利活動法人 かわごえ里山イニシアチブ

1　事業の成果

2022年度は会員数約70名と例年と横ばいで推移。都市型農村の特徴を活かし「生きもの育む田んぼプロジェクト2022」を継続して行い、環境保全型農業の地道な活動を続けている。

コロナ禍の中で栽培面積やイベント活動の規模の縮小余儀なくされましたが、必要最小限の工夫をしながら地道で着実な活動を行ってきた。この中で大きな成果は、大学連携で行ってきた土壌分析研究により、活動する無施肥・無肥料で無農薬の福田の田んぼの土壌バクテリアの豊かさが科学的に証明され、地球温暖化防止に貢献していることが分った。

田んぼIoTシステム、川越市福田の田んぼ土壌菌解析講演会や田んぼ文化の伝承イベントを行った。地域や大学との連携活動を引き続き行った。大学連携で日本工学院専門学校のマンガ科の協力を得てかわごえ里山の活動や生物多様性農法を分かりやすく伝えるマンガ冊子（COMIC TANBO創刊準備号）を制作した。

2　事業の実施に関する事項（2022年4月1日 ～ 2023年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲/人数 | | 支出額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 田んぼ活動に関する調査研究事業 | ・田んぼプロジェクト<br>・米づくり、マコモ栽培 | 週3回 | CO江戸かわごえ初雁の里 | 30名 | 会員/市民/農業者 | 70名 | 1181 |
| 講習会・イベント開催事業 | ・田んぼのIoTと土壌菌解析講演会<br>・生きもの観察会<br>・七夕、正月飾り作り<br>・繭玉作り | 全5回 | ・田んぼ<br>・公民館<br>・オンライン上 | 10名 | 会員/市民 | 150名 | 166 |
| 情報収集及び情報発信事業 | ・HPの更新、FB等の運用<br>・パンフ、マンガ冊子の製作及び配布 | 逐次 | ・オンライン<br>・マーケット | 5名 | 会員/市民 | 1000名 | 139 |
| 農業分野における情報通信技術の利活用に関する事業 | ・田んぼを見守る田んぼIoTシステムの開発<br>・稲作データ収集 | 逐次 | CO江戸かわごえ初雁の里 | 5名 | 会員/市民/農業者 | 50名 | 74 |
| 環境にやさしい農産物の頒布事業 | 安心・安全なお米・マコモ及びマコモ製品の頒布と普及活動 | 逐次 | CO江戸かわごえ初雁の里 | 15名 | 会員/市民 | 100名 | 458 |
| その他目的を達成するために必要な事業 | ・土壌バクテリア解析<br>・田んぼの景観づくり<br>・地域連携 | 逐次 | CO江戸かわごえ初雁の里 | 20名 | 会員/市民/地元住民 | 150名 | 285 |

議案第2号

# 2022年度　かわごえ里山イニシアチブ 活動計算書

2022年　4月　1日　～　2023年　3月　31日　まで　　（単位：円）

| 科　目 | 金　額 | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ 経常収益 | | | |
| 1. 受取会費 | | | |
| 正会員受取会費 | 200,000 | | |
| 賛助会員受取会費 | 0 | 200,000 | |
| 2. 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金 | 11,000 | | |
| 施設等受入評価益 | | 11,000 | |
| 3. 受取助成金等 | | | |
| 受取民間助成金 | 599,240 | | |
| 受取公的補助金 | 0 | 599,240 | |
| 4. 事業収益 | | | |
| 田んぼ活動に関する調査研究事業 | 635,273 | | |
| 講習会・イベント開催事業 | 39,500 | | |
| 情報収集及び情報発信事業 | 45,000 | | |
| 農業分野における情報通信技術の利活用に関する事業 | 0 | | |
| 環境にやさしい農産物の頒布事業 | 704,605 | | |
| その他目的を達成するためのに必要な事業 | 5,000 | 1,429,378 | |
| 5 その他収益 | | | |
| 受取利息 | | | |
| 雑収益 | 18 | 18 | |
| 経常収益計（A） | | | 2,239,636 |
| Ⅱ 経常費用 | | | |
| 1. 事業費 | | | |
| （1）人件費 | | | |
| 給与手当 | 0 | | |
| 福利厚生費 | 0 | | |
| 人件費計 | 0 | | |
| （2）その他経費 | | | |
| 印刷製本費 | 138,648 | | |
| 水道光熱費 | 50,436 | | |
| 諸謝金 | 114,840 | | |
| 旅費交通費 | 20,280 | | |
| 消耗品費 | 84,982 | | |
| 地代家賃 | 255,000 | | |
| 通信運搬費 | 42,891 | | |
| 雑費 | 47,525 | | |
| 保険料 | 5,800 | | |
| 車両費 | 35,000 | | |
| 支払手数料 | 5,613 | | |
| 修繕費 | 461,462 | | |
| 業務委託費 | 307,100 | | |
| 物品販売原価 | 402,250 | | |
| 研修費 | 10,000 | | |
| 農業資材費 | 299,845 | | |
| 食材費 | 21,507 | | |
| その他経費計 | 2,303,179 | | |
| 事業費計 | | 2,303,179 | |
| 2. 管理費 | | | |
| （1）人件費 | | | |
| 給与手当 | 0 | | |
| 法定福利費 | 0 | | |
| 人件費計 | 0 | 0 | |
| （2）その他経費 | | | |
| 諸会費 | 12,000 | | |
| 租税公課 | 2,600 | | |
| 会議費 | 16,640 | | |
| 印刷製本費 | 0 | | |
| 賃借料 | 34,570 | | |
| その他経費計 | 65,810 | | |
| 管理費計 | | 65,810 | |
| 経常費用計（B） | | | 2,368,989 |
| ① 当期正味財産増減額（A−B） | | | −129,353 |
| ② 前期繰越正味財産額 | | | 2,104,768 |
| 次期繰越正味財産額（①＋②） | | | 1,975,415 |

# 2022年度活動計算内訳書

| 合計 / 金額 | 列ラベル | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 行ラベル | | その他目的達成 | 環境にやさしい農産物頒布 | 講習会・イベント開催 | 情報収集及び情報発信 | 田んぼ活動調査研究 | 農業分野の情報通信技術利活用 | 理事会（を含む例会） | 総計 |
| **収益** | **799,258** | **5,000** | **704,605** | **39,500** | **56,000** | **635,273** | | | **2,239,636** |
| 雑収益 | | 5,000 | 255,155 | 5,500 | 45,000 | | | | 310,655 |
| 受取寄付金 | | | | | 11,000 | | | | 11,000 |
| 受取民間助成金 | 599,240 | | | | | | | | 599,240 |
| 受取利息 | 18 | | | | | | | | 18 |
| 正会員受取会費 | 200,000 | | | | | | | | 200,000 |
| 田んぼPJ事業 | | | 449,450 | 14,000 | | 635,273 | | | 1,098,723 |
| 預り金 | | | | 20,000 | | | | | 20,000 |
| **費用** | | **349,497** | **458,188** | **166,462** | **139,034** | **1,181,363** | **73,575** | **870** | **2,368,989** |
| 印刷製本費 | | 1,158 | 20,000 | | 117,490 | | | | 138,648 |
| 会議費 | | 3,740 | | 4,200 | 8,700 | | | | 16,640 |
| 業務委託費 | | | | | | 287,000 | 20,100 | | 307,100 |
| 研修費 | | | | 10,000 | | | | | 10,000 |
| 雑費 | | 18,237 | 3,800 | 526 | 178 | 437 | 24,347 | | 47,525 |
| 支払手数料 | | 2,403 | 640 | 480 | 110 | 1,760 | 220 | | 5,613 |
| 車両費 | | | | | | 35,000 | | | 35,000 |
| 修繕費 | | 10,000 | | | | 461,462 | | | 471,462 |
| 諸会費 | | 10,000 | | 2,000 | | | | | 12,000 |
| 諸謝金 | | 11,000 | | 100,540 | 3,300 | | | | 114,840 |
| 消耗品費 | | 21,028 | 21,573 | 1,496 | 3,375 | 23,448 | 4,062 | | 74,982 |
| 食材費 | | 10,187 | | 11,320 | | | | | 21,507 |
| 水道光熱費 | | 50,436 | | | | | | | 50,436 |
| 租税公課 | | 2,600 | | | | | | | 2,600 |
| 地代家賃 | | 180,000 | | | | 75,000 | | | 255,000 |
| 賃借料 | | 4,190 | | 29,010 | | 900 | | 470 | 34,570 |
| 通信運搬費 | | 2,762 | 9,925 | 110 | 4,581 | 667 | 24,846 | | 42,891 |
| 農業資材費 | | 4,156 | | | | 295,689 | | | 299,845 |
| 物品販売原価 | | | 402,250 | | | | | | 402,250 |
| 保険料 | | 5,800 | | | | | | | 5,800 |
| 旅費交通費 | | 11,800 | | 6,780 | 1,300 | | | 400 | 20,280 |

# 貸借対照表

2023 年　3 月 31 日現在

（特定非営利活動法人の名称）
かわごえ里山イニシアチブ

（単位：円）

| 科　　目 | 金　　額 | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | |
| 1　流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | 1,975,415 | | |
| 未収会費 | | | |
| 流動資産合計 | | 1,975,415 | |
| 2　固定資産 | | | |
| 敷金 | | | |
| 備品 | | | |
| 車両 | | | |
| 固定資産合計 | | | |
| 資産合計（A） | | | 1,975,415 |
| Ⅱ　負債の部 | | | |
| 1　流動負債 | | | |
| 短期借入金 | 0 | | |
| 未払金(源泉税等) | | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2　固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | | |
| 負債合計（B） | | | 0 |
| Ⅲ　正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産額 | | 2,104,768 | |
| 当期正味財産増減額 | | −129,353 | |
| 正味財産合計（C）＝（A）－（B） | | | 1,975,415 |
| 負債及び正味財産合計（B）＋（C） | | | 1,975,415 |

# 財産目録

2023 年　3 月 31 日現在

（特定非営利活動法人の名称）
かわごえ里山イニシアチブ

（単位：円）

| 科　　目 | 金　　額 | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | |
| 1　流動資産 | | | |
| 現金 | 1,169 | | |
| 預金（ゆうちょ銀行　〇三八） | 1,806,871 | | |
| 預金（PayPay 銀行　００５） | 167,375 | | |
| 未収会費 | | | |
| 流動資産合計 | | 1,975,415 | |
| 2　固定資産 | | | |
| 敷金 | | | |
| 備品 | | | |
| 車両 | | | |
| 固定資産合計 | | | |
| 資産合計（A） | | 0 | 1,975,415 |
| Ⅱ　負債の部 | | | |
| 1　流動負債 | | | |
| 短期借入金 | 0 | | |
| 未払金(源泉税等) | | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2　固定負債 | | | |
| 長期借入金 | | | |
| 固定負債合計 | | | |
| 負債合計（B） | | | 0 |
| 正味財産（C）＝（A）－（B） | | | 1,975,415 |

# NPO法人 かわごえ里山イニシアチブ
# 監査結果報告書

2022年度 NPO法人 かわごえ里山イニシアチブの事業にともなう決算及び会計帳簿等の監査を行った結果、適正に執行されていることを報告いたします。事業についても適正に行われていることを報告いたします。

2023年6月14日

NPO法人 かわごえ里山イニシアチブ

監事

議案第3号

# 年間役員名簿

| 役名 | 氏　名（フリガナ） | 住　所　又　は　居　所 | 就任期間 | 報酬の有無 |
|---|---|---|---|---|
| 理事 | 増田（マスダ）　純一（ジュンイチ） | 埼玉県川越市伊勢原町2丁目11番地11 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 髙梨（タカナシ）　耕治（コウジ） | 埼玉県川越市大字福田439番地 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 小瀬（コセ）　博之（ヒロユキ） | 埼玉県川越市大字鯨井1544番地41 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 内田（ウチダ）　聖美（キヨミ） | 埼玉県川越市脇田町103番地<br>（川越駅前脇田ビル607号室） | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 柏井（カシワイ）　喜代恵（キヨエ） | 埼玉県川越市大字小堤549番地82 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 小林（コバヤシ）　順吉（ジュンキチ） | 埼玉県川越市大字府川819番地 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 谷道（タニミチ）　輝夫（テルオ） | 埼玉県比企郡川島町大字下伊草209番地10 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 藤岡（フジオカ）　重歳（シゲトシ） | 埼玉県入間郡三芳町藤久保336番地1<br>エコビレッジ鶴瀬609号 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 増田（マスダ）　知久（トモヒサ） | 埼玉県川越市新富町一丁目20番地１<br>パークホームズ川越新富町アドーア<br>1502号室 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 理事 | 塔筋（トウスジ）　真一（シンイチ） | 埼玉県川越市寿町1丁目2331番地13 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |
| 監事 | 七星（ナナホシ）　雄史郎（ユウシロウ） | 埼玉県川越市大字小堤549番地82 | 2022年4月1日<br>～<br>2023年3月31日 | 無 |

# 役員の変更等届出書

2023 年　月　日

（宛先）

埼玉県知事

埼玉県川越市伊勢原町 2-11-11
特定非営利活動法人かわごえ里山イニシアチブ
代表者氏名　増田純一　㊞
電話番号　049-234-5269

下記のとおり役員の変更等があったので特定非営利活動促進法第２３条第１項の規定により、届け出ます。

記

| 変更年月日 | 変更事項 | 役名 | 氏名（フリガナ） | 住所又は居所 |
|---|---|---|---|---|
| 2023年6月26日 | 再任 | 理事 | 増田（マスダ）　純一（ジュンイチ） | 埼玉県川越市伊勢原町2丁目11番地11 |
| 2023年6月26日 | 再任 | 理事 | 髙梨（タカナシ）　耕治（コウジ） | 埼玉県川越市大字福田439番地 |
| 2023年6月26日 | 再任 | 理事 | 小瀬（コセ）　博之（ヒロユキ） | 埼玉県川越市大字鯨井1544番地41 |
| 2023年6月26日 | 再任 | 理事 | 内田（ウチダ）　聖美（キヨミ） | 埼玉県川越市脇田町103番地<br>（川越駅前脇田ビル607号室） |
| 2023年6月26日 | 再任 | 理事 | 柏井（カシワイ）　喜代恵（キヨエ） | 埼玉県川越市大字小堤549番地82 |
| 2023年6月26日 | 再任 | 理事 | 小林（コバヤシ）　順吉（ジュンキチ） | 埼玉県川越市大字府川819番地 |
| 2023年6月26日 | 再任 | 理事 | 谷道（タニミチ）　輝夫（テルオ） | 埼玉県比企郡川島町大字下伊草209番地10 |
| 2023年6月26日 | 再任 | 理事 | 藤岡（フジオカ）　重歳（シゲトシ） | 埼玉県入間郡三芳町藤久保336番地1エコビレッジ鶴瀬609号 |
| 2023年6月25日 | 任期満了 | 理事 | 増田（マスダ）　知久（トモヒサ） | 埼玉県川越市新富町一丁目20番地１パークホームズ川越新富町アドーア1502号室 |
| 2023年6月25日 | 任期満了 | 理事 | 塔筋（トウスジ）　真一（シンイチ） | 埼玉県川越市寿町1丁目2331番地13 |
| 2023年6月26日 | 再任 | 監事 | 七星（ナナホシ）　雄史郎（ユウシロウ） | 埼玉県川越市大字小堤549番地82 |

報告事項

# 2023年度事業計画

特定非営利活動法人 かわごえ里山イニシアチブ

1　事業実施の方針

「生きもの育む田んぼプロジェクト2023」で生物多様性有機農法による環境保全型農業でお米づくりやマコモづくりを引き続き実施していきます。健全な土壌や環境に優しい農業で陸の豊かさを守ります。大学や地域と連携して田んぼの多面的機能を発揮し各種イベントで田んぼ文化の伝承を行います。田んぼIoTシステムの更なる発展を図ります。就労支援施設と協働しWinWinの関係を目指します。他の市民組織に協力し環境保全型農業の普及・発展を目指します。マコモ葉っぱビジネスやマコモ製品のオーガニックマーケット参入で経済的基盤の確立を目指します。大学・高校連携で探求学習の農業体験を支援します。大学連携でCOMIC TANBOマンガを制作し活動を分かりやすく伝えます。

2　事業の実施に関する事項（2023年4月1日 ～ 2024年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事　業　内　容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者の範囲/人数 | | 支出見込額（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 田んぼ活動に関する調査研究事業 | ・田んぼプロジェクト2023<br>・米づくり、マコモ栽培<br>・探求学習：農業体験支援 | ・週3回 | CO江戸かわごえ初雁の里 | 15名 | 川越市民周辺都市住民/会員/高校生 | 100名 | 700 |
| 講習会・イベント開催事業 | ・各種セミナー<br>・生きもの観察会<br>・田んぼ文化の伝承 | 各月1回 | ・田んぼ<br>・古民家<br>・公民館<br>・オンライン上 | 7名 | 川越市民周辺都市住民 | 200名 | 100 |
| 情報収集及び情報発信事業 | ・HP・FB等SNSの運用<br>・生物多様性有機農法の普及と啓発<br>・チラシ、パンフ、マンガ冊子の制作 | 逐次 | ・オンライン上・イベント | 5名 | 市民/大学生 | 1000名 | 200 |
| 農業分野における情報通信技術の利活用に関する事業 | ・田んぼを見守る田んぼIoTシステムの発展<br>・データ収集・分析<br>・大学連携での活用 | 逐次 | ・CO江戸かわごえ初雁の里<br>・就労支援施設・オンライン上 | 5名 | 市民/農業者 | 25名 | 100 |
| 環境にやさしい農産物の頒布事業 | ・お米の頒布及びマコモ製品の開発と頒布<br>・マコモ製品のオーガニックマーケットへの参入 | 逐次 | ・CO江戸かわごえ初雁の里 | 15名 | 会員/市民 | 1500名 | 500 |
| その他目的を達成するために必要な事業 | ・田んぼの景観づくり<br>・地域連携 | 逐次 | CO江戸かわごえ初雁の里 | 10名 | 会員/市民/地域住民 | 150名 | 400 |

報告事項

＜2023年度の主要な活動と課題について＞

「生きもの育む田んぼプロジェクト2023」で生物多様性有機農法による環境保全型農業でお米づくりやマコモづくりを引き続き実施していく中で、次のような活動展開をしていきます。

① 経済的基盤の強化：マコモ葉っぱビジネスやマコモ製品のオーガニックマーケット参入で経済的基盤の確立を目指します。具体的には、就労支援施設と協働しマコモ茶生産、マコモ入りパウダーの本格生産に入り、経済的なWinWinの関係を目指します。

② 地域連携：地元に受け入れられ持続的な活動展開をするために地元農村グループで構成される「山田田園環境保全推進グループ」に参加し、農村グループの一員として連携を深めて活動していきます。

③ 大学連携：日本薬科大学とは、マコモの成分分析研究や田んぼの土壌菌分析や探求学習で連携を深めていきます。東洋大学小瀬研究室とは「田んぼを見守るIoTシステム」によるデータ活用やシステムの応用研究で連携協力を行います。日本工学院専門学校マンガ・アニメーション科と連携しCOMIC TANBOを制作しマンガで生物多様性有機農法による環境保全型農業の普及・啓蒙を図ります。また、農業の良さや多面的機能の重要性を伝えます。

④ 田んぼを見守るIoTシステム
2016年から東洋大学小瀬研究室と市民IoT技術者を交え共同研究を行っています。市民IoT技術者である林伸夫氏の協力を得て開発している「田んぼを見守る田んぼIoTシステム」は定期的な写真撮影の他、田んぼの水位や水温、湿度、照度などの各種センサーを備えデータ収集しています。

⑤ 部外活動：田んぼ活動の他、田んぼIoT部、福ちゃん畑部、ホタル部、養蜂部があります。農作業の合間に会員のスキルを活かし、活動の幅を拡げ会員間相互の親睦を深めます。

⑥ ビオトープ＆花壇：かわごえ里山と地域住民の憩いの場所として運用の確立を目指します。

報告事項

# 2023年度　かわごえ里山イニシアチブ活動予算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで　　（単位：円）

| 科　目 | 金　額 | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ 経常収益 | | | |
| 1. 受取会費 | | | |
| 正会員受取会費 | 200,000 | | |
| 賛助会員受取会費 | 0 | 200,000 | |
| 2. 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金 | 50,000 | | |
| 資産受贈益 | 0 | | |
| 施設等受入評価益 | | 50,000 | |
| 3. 受取助成金等 | | | |
| 受取民間助成金 | 611,000 | | |
| 受取公的助成金 | 0 | 611,000 | |
| 4. 事業収益 | | | |
| 田んぼ活動に関する調査研究事業 | 560,000 | | |
| 講習会・イベント開催事業 | 40,000 | | |
| 情報収集及び情報発信事業 | 50,000 | | |
| 農業分野における情報通信技術の利活用に関する事業 | 0 | | |
| 環境にやさしい農産物の頒布事業 | 500,000 | | |
| その他目的を達成するためのに必要な事業 | 0 | 1,150,000 | |
| 5. その他収益 | | | |
| 受取利息 | 10 | | |
| 雑収益 | 100,000 | 100,010 | |
| 経常収益計 | | | 2,111,010 |
| Ⅱ 経常費用 | | | |
| 1. 事業費 | | | |
| (1)人件費 | | | |
| 給与手当 | | | |
| 福利厚生費 | | | |
| 人件費計 | 0 | | |
| (2)その他経費 | | | |
| 印刷製本費 | 150,000 | | |
| 水道光熱費 | 50,000 | | |
| 諸謝金 | 80,000 | | |
| 旅費交通費 | 20,000 | | |
| 消耗品費 | 85,000 | | |
| 地代家賃 | 240,000 | | |
| 通信運搬費 | 43,000 | | |
| 雑費 | 47,000 | | |
| 保険料 | 6,000 | | |
| 車両費 | 80,000 | | |
| 支払手数料 | 5,000 | | |
| 修繕費 | 300,000 | | |
| 業務委託費 | 150,000 | | |
| 物品販売原価 | 400,000 | | |
| 研修費 | 20,000 | | |
| 農業資材費 | 300,000 | | |
| 食材費 | 20,000 | | |
| その他経費計 | 1,996,000 | | |
| 事業費計 | | 1,996,000 | |
| 2. 管理費 | | | |
| (1)人件費 | | | |
| 給与手当 | 0 | | |
| 法定福利費 | 0 | | |
| 人件費計 | 0 | | |
| (2)その他経費 | | | |
| 諸会費 | 10,000 | | |
| 租税公課 | 2,600 | | |
| 会議費 | 15,000 | | |
| 印刷製本費 | 0 | | |
| 賃借料 | 30,000 | | |
| その他経費計 | 45,000 | | |
| 管理費計 | | 45,000 | |
| 経常費用計 | | | 2,041,000 |
| 当期正味財産増減額 | | | 70,010 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 1,975,415 |
| 次期繰越正味財産額 | | | 2,045,425 |

かわごえ里山イニシアチブ
Kawagoe Satoyama Initiative

2023 年活動スケジュール表　　2023/6/10 版

(2023/6/10 時点のもので変更になる場合があります)

| 項　　目 | 時　期 | 内　　容 |
|---|---|---|
| マコモ苗株分け作業 | 2 月 25 日（土） | |
| 第 21 回かわごえ環境フォーラム | 2 月 25 日（土） | かわごえ里山発表 |
| 田んぼの測量、耕うん | 3 月 6 日（月） | 7 号田高低差測量 |
| 第２回探求学習(第１回現地研修) | 3 月 13 日（月） | 漢方の先生と歩く野草（薬草）観察 |
| 苗床づくり＆畦草刈り | 3 月 22 日（水）～ | 2 号田苗床用 4.5m 幅耕うん |
| 田んぼプロジェクト説明会 | 3 月 25 日（土） | 午前　於ウェスタ川越南公民館 |
| 第１回堀さらい | 4 月 1 日（土） | 8 時から |
| 桜堤祭り | 4 月 2 日（日） | 福田地区開催 |
| 第３回探求学習 | 4 月 3 日（月） | マコモ株分け、苗起こし |
| マコモ株分け、苗起こし | 4 月 3 日（月）～8 日 | |
| 田んぼ集中整備 | 4 月 9（日）～15 日 | 苗床、畦草刈り、田んぼ、用・排水路 |
| 種の温湯消毒・乾燥 | 4 月 16 日（日） | 60℃　7 分間 |
| 苗床整備 | 4 月 17 日～22 日 | 苗床の平たん化など |
| 第４回探求学習 | 4 月 17 日（月） | 午後 1 時～3 時、種まき準備作業 |
| 理事会 | 4 月 22 日(土) | 田んぼ作業体制づくり |
| 浸種＆苗床準備 | 4 月 23 日～28 日 | 芽出し平均累積温度 100 度 C |
| 種まき | 4 月 29 日（土） | ポット苗 110～120 枚/5 反分 |
| マコモ苗植付け開始 | 4 月 29 日（土）～ | 約 1 週間 |
| 育苗水管理 | 4 月 30 日（日）～ | 以降、ほぼ 1 ケ月間 |
| ストロベリーキャンドルピクニック（レンゲ祭り） | 5 月 1 日（月）～<br>5 月 5 日（金） | 5/1 田んぼで遊ぼうピクニック<br>第 5 回探求学習 |
| 第 1 回代かき | 5 月 14 日（日）～ | 7 号田、8 号田 |
| 第 6 回探求学習 | 5 月 15 日（月） | マコモ田植え、ホタル飼育システム研修 |
| 第 2 回代かき | 5 月 20 日（土） | |
| 第 3 回代かき・四隅 | 5 月 24 日（水） | 田んぼ四隅平たん化手作業 |
| 苗上げ＆水抜き作業・四隅 | 5 月 26 日（金） | 田んぼ四隅平たん化手作業 |
| 田植え開始 | 5 月 27 日（土） | 7,8 号田機械植え（一部手植え） |
| 田植えイベント | 5 月 28 日（日） | 1,2 号田機械植え（一部手植え） |
| 第 7 回探求学習 | 5 月 29 日（月） | 高校生の田植え体験 |
| 総会前理事会 | 6 月 3 日（土） | |
| 第 1 回機械田除草&畔草刈り | 6 月 7 日（水） | |
| 田除草・畦草刈り | 6 月 10 日（土） | 水上艇除草 |
| 捕植・田除草・畔草刈り | 6 月 14 日（水） | |
| マコモ馬づくりイベント | 6 月 17 日（土） | |
| 田除草・田んぼ周辺整備 | 6 月 21 日（水） | 水上艇除草 |
| 第 3 回機械田除草&畔草刈り | 6 月 24 日（土） | |
| 総会＆講演会 | 6 月 25 日（日） | リアル＆オンライン（講演会のみ） |
| マコモ葉刈取り＆畦草刈り | 6 月 28 日（水） | 敷島神社茅の輪くぐり用 |

| | | |
|---|---|---|
| 生きもの調査準備 | 6 月 30 日（金） | |
| 生きもの調査 | 7 月 1 日（土） | 山田田園 GP、かわごえ環境ネット共催 |
| ファーマーズマーケット | 7 月 2 日（日） | 連馨寺：参加未定 |
| 第 1 回マコモ葉収穫 | 7 月 8 日（土） | マコモ葉 |
| マコモで盆御座＆牛馬づくり | 7 月 15 日（土） | 伝統的文化の伝承 |
| 畦草刈・田んぼ周辺整備 | 7 月 19 日（水） | |
| 農作業・田んぼ周辺整備 | 7 月 22 日（土） | |
| 畦草刈り・田んぼ周辺整備 | 8 月 5 日（土） | お盆前 |
| 畦草刈り・農作業予備 | 8 月 9 日（水） | お盆前 |
| 畦草刈り・マコモ葉の刈取り | 8 月 19 日（土） | 第 2 回マコモ葉収穫 |
| かかしづくり | 8 月 27 日（日） | 伝統的文化の継承　山田田園環境保全推進 GP(山田田園 GP) |
| かわごえ里山田んぼ四隅刈り | 9 月 8 日（金）+1W | 手刈り |
| かわごえ里山本田稲刈り | 9 月 9 日（土）+1W | コンバイン刈り・手刈り |
| 1・2 号田稲刈り | 9 月 10 日（日）+1W | コンバイン刈り・手刈り |
| 乾燥・籾摺り・袋詰め | 9 月 12 日（火）+1W | |
| プロジェクト米配布開始 | 9 月 12 日（日）+1W | プロジェクト米配布開始 |
| 機械整備 | 9 月 30 日（土）～ | |
| アースデイ川越 in 昭和の街 | 10 月 1 日（日） | |
| 収穫祭と地元感謝 DAY | 10 月 15 日（日） | 里山＆山田田園 GP |
| 田んぼ整備 | 10 月 21 日（土）～ | |
| ストロベリー・レンゲ種まき | 10 月 28 日（土）～ | 1 週間 |
| 田んぼ整備 | 11 月中 | |
| しめ縄飾りづくり | 11 月 26 日（日） | |
| ファーマーズマーケット | 12 月 4 日（日）＊ | ウェスタ川越 |
| 正月飾りづくり | 12 月 23 日（土）＊ | 伝統的文化の継承 |

# かわごえ里山イニシアチブ　アクセス マップ

## アクセス　インフォメーション

● 住所

・田んぼ：川越市福田３１０周辺

・高梨農園：川越市福田４３９

● バスでのアクセス（所用時間：約 20-25 分）

・川越 02 系統（東松山行）：東武バス東口 2 番のりば

・川越 03 系統（鴻巣免許センター行）：同 4 番のりば

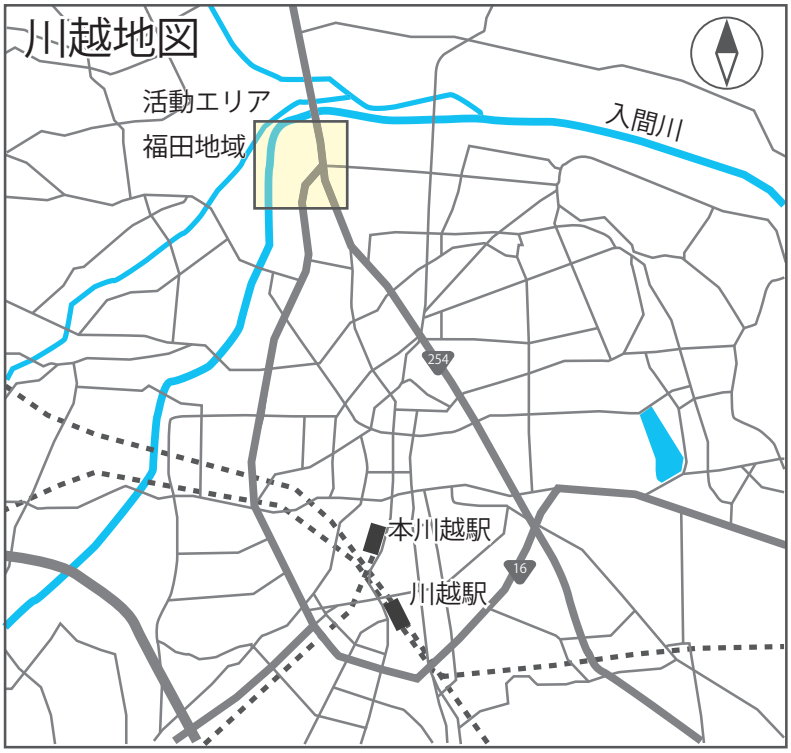
田んぼに行く場合は福田で下車

高梨農園に行く場合は城西大付属高校前で下車

高梨農園から田んぼまでは徒歩 4 分

●お問い合わせ

hatsukarinosato@googlegroups.com




NPO法人
かわごえ里山イニシアチブ
Kawagoe Satoyama Initiative